

# 草の根技術協力事業 ～提案のコツ～

JICA東北市民参加協力課

# 本日の目的

## ～基本の重要性と審査者の視点～

1. 自らの提案を客観視
2. JICA草の根技協は何かを理解
3. JICA草の根技協の傾向と対策
4. 事業提案書への反映

# 1. 自らの提案を客観視

- ✓ 団体の設立、活動の目的は？
- ✓ 提案内容は、団体の主旨に沿っているか？
- ✓ 提案のための、人材、知識・技術、資金などが十分か？
- ✓ 提案は協力の全体像・計画の中でどこに位置付けられているか？
  - ⇒ 対象国での5年や10年の協力計画があるか？
  - 協力活動終了後のイメージは？

## 2. JICA草の根技協とは何か？

### 途上国への小さな技術協力

- ✓ 日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人などの団体等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。

(草の根技術協力事業リーフレット)

例：農業、保健衛生、生活改善・組織形成・運営、防災

\* 日本の発展で培われた経験や在来技術(ローテク)は発展途上の地域に、大いに有用です！

\* 協力活動を通じて日本側の活性化も図ることも可能です！

## 2. JICA草の根技協とは何か？

### 途上国への小さな技術協力

- ✓ 日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人の団体等が**これまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施**する事業です。

⇒ JICA事業（政府開発援助：ODA）、技術協力の一環

⇒ 経費は全額負担（業務委託の規定により一部対象外）

### 3. JICA草の根技協の傾向と対策

#### 草の根技協の制度や目的を把握

- ✓ 募集要項をよく読む
- ✓ HPをはじめとした関連情報を分析します  
(例: 草の根技協の類似例、その国での援助傾向。。。)
- ✓ 疑問点についてはJICA東北へ直接確認

⇒草の根技協での提案概要が浮かんだら。。。  
ご相談ください！(アイデア相談、コンサルテーション)

## 3. JICA草の根技協の傾向と**対策** コンサルテーション

### 1. 開発途上国の住民の要望(ニーズ)

**開発途上国の住民における課題、要望・困りごと(ニーズ)の把握、これが案件形成の出発点、核心になります。**

### 2. JICAが行う技術協カプロジェクトとは？

期間、資源(ひとモノ資金)に制約がある中で、明確な目標を達成するための活動

### 3. プロジェクトの論理性

以下の一文に集約されます。。。

**対象地域において活動・成果を行うことによりプロジェクト目標を達成する。**

**例:A国のB地域において、灌漑施設の改修、適切な運営維持管理のための水利組合の強化、営農支援等を行うことにより、灌漑システムの維持管理体制強化を達成する。**

(JICAアカデミー明確な目標設定と適切な指標Ver 22. 2016.02を改変)

### 3. JICA草の根技協の傾向と**対策** コンサルテーション

団体、JICAがお互い納得がいくまでコンサルテーションを行います

- ✓ 提案の論理性や実現可能性を高めます  
(対象地域、活動内容、関係者、人材、期間、目標などを整理)
- ✓ JICAの正負の教訓を提案に助言・還元
- ✓ 実施体制(事務や経理、現地との連絡体制含む)に助言・提言

⇒**団体アイデアをODA事業として案件形成し、実現の可能性を高めます！**

### 3. JICA草の根技協の傾向と**対策** 審査のポイント

- ✓ 住民の抱える問題や現状を客観的に把握し分析できているか
- ✓ 目標が明確であり、どのように目標達成に至るかの道筋が明確か
- ✓ 国内の実施体制・相手国の受け入れ体制は整っているか

## 4. 事業提案書への反映

案件形成と事業提案書の作成は別ものです。十分な準備が必要です。

- ✓ 設問への明確な回答か？配点に呼応しているか？  
(既存の提案書の焼き直しは、要注意)
- ✓ 団体関係者にとり明白な事(経緯や専門用語)は、初見の審査者には読み取れない。  
⇒部外者に査読をしてもらう。
- ✓ 事業提案書、実施のスケジュール、予算書など様式間で齟齬が無い  
か？  
(プロジェクト目標が統一されているか?予算の計上漏れはないか?)

⇒JICA東北では、担当者が提案書の査読もさせていただきます。

# まとめ

## ～提案のコツ～

- ✓ JICAは日本国のODA実施機関としての使命
- ✓ 団体は、それぞれの使命に基づく



草の根技術協力事業の実現のためには、十分な期間が必要です。

- ✓ 団体、JICA双方の共通点と違いを理解しつつ、お互いの協力(丁寧なコンサルテーション)による案件形成
- ✓ 簡潔で分かりやすい事業提案書



# お問い合わせ先

JICA東北市民参加協力課（JICA東北センター）  
草の根技術協力事業担当

仙台市青葉区一番町4-6-1 第一生命タワービル20F

電話：022-223-4772

FAX：022-227-3090

Email：[thicjpp@jica.go.jp](mailto:thicjpp@jica.go.jp)

**お気軽にお問い合わせください！**